

経営比較分析表（令和4年度決算）

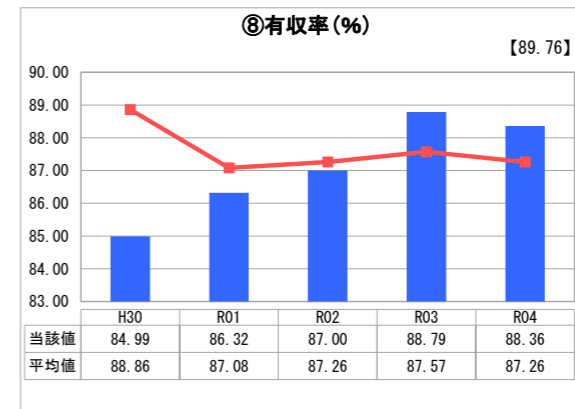
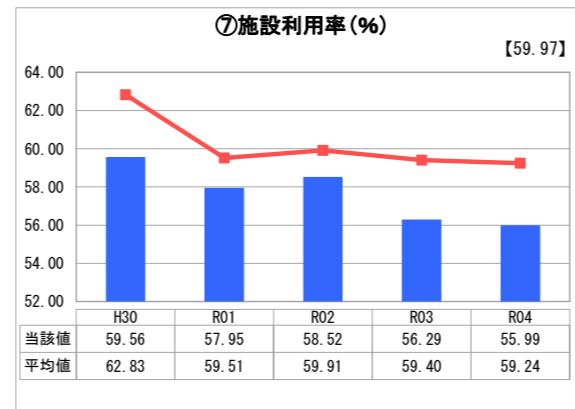
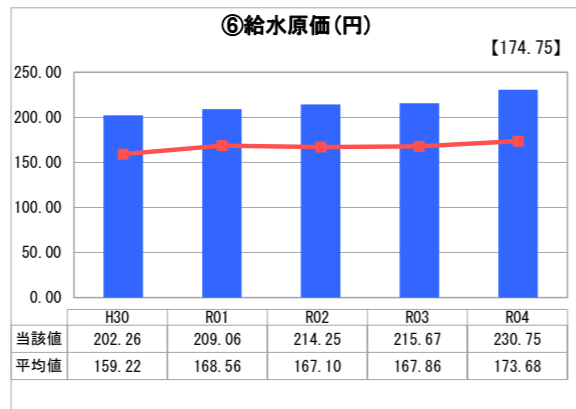
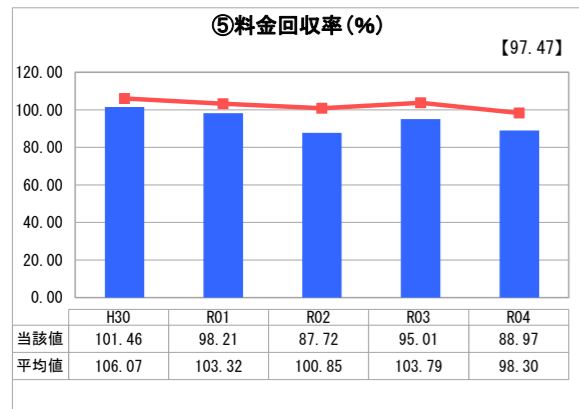
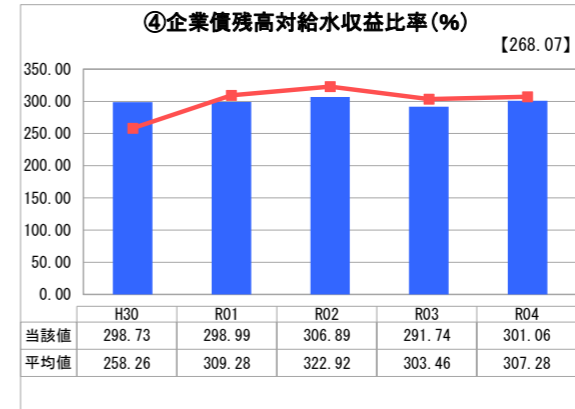
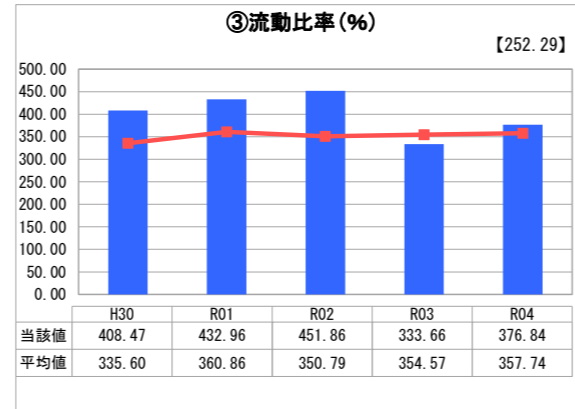
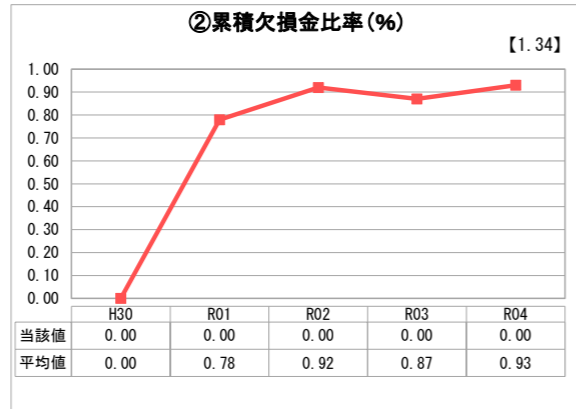
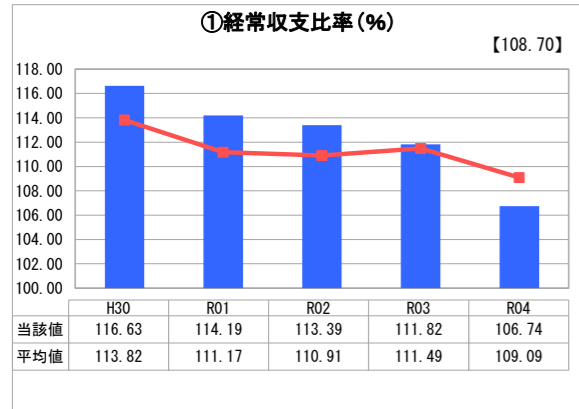
岡山県 津山市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A4 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 77.11 | 99.40 | 3,575 | |

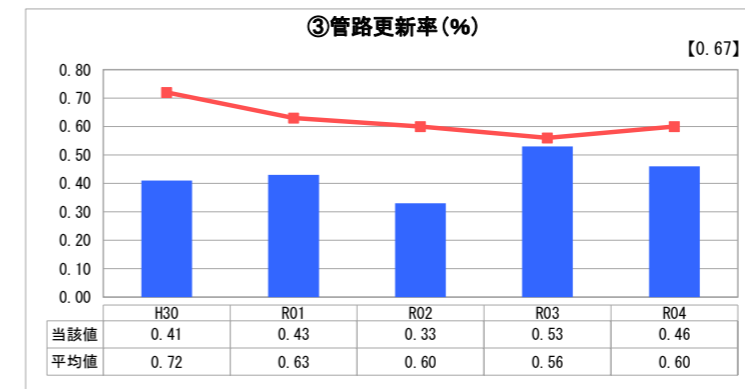
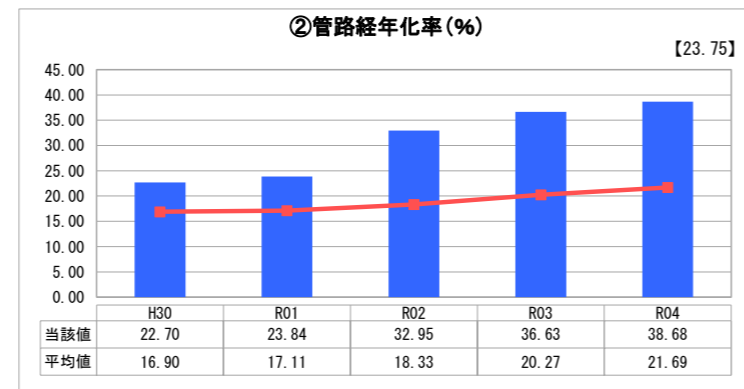
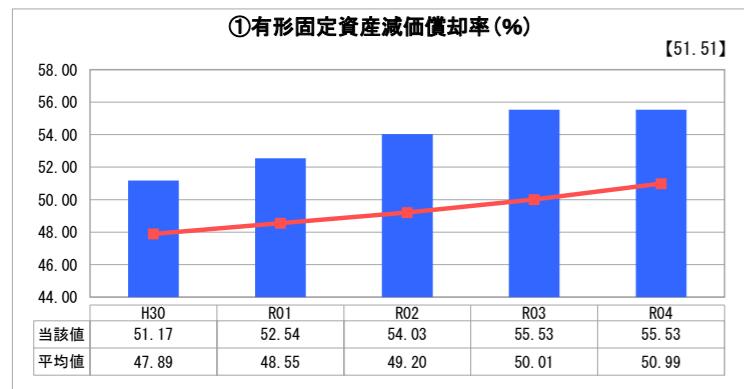
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 97,645 | 506.33 | 192.85 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 96,340 | 205.67 | 468.42 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和4年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、引き続き100%を上回っているが、本年度は、委託料・動力費などの上昇により経常収支を圧迫している。
 ② 累積欠損比率は、引き続き0%であり、健全である。
 ③ 本年度は昨年度に比べ流動負債が減少したため、流動比率は上昇し、類似団体平均値を上回った。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均を下回っているが、経年比較では類似団体と概ね同程度の値で推移している。
 ⑤ 料金回収率は、平成29年度の簡易水道事業統合以降、類似団体と比べ低い値となっており、100%を下回っている。
 ⑥ 給水原価は簡易水道事業統合以降、微増傾向で推移している。経費削減には努めていくが、地形、地勢的な問題もあり、類似団体に対して高い傾向が続くと見込んでいる。
 ⑦ 施設利用率は、給水人口の減少などに伴う水需要の減少により、低下傾向にあり、類似団体平均を下回っている。施設の統廃合、縮小を検討していく必要がある。
 ⑧ 有収率については、類似団体と比較し低い値が続いていたが、漏水対策などにより改善している。本年度は、寒波により有収水量が減少したため、若干有収率が減少した。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と同様に、上昇傾向にある。
 ② 管路経年化率は、類似団体に比べ高い値で推移しており、対策が急がれる状況は変わっていない。
 ③ 類似団体の平均値を下回っており、積極的に管路更新に取り組む必要がある。本年度の管路更新率は、新設管路の付設で管路総延長が伸びたことにより、前年度より若干落ち込んでいる。

全体総括

現時点での健全性は保たれているが、今後、人口減少に伴う水需要の減少が見込まれ、経営状況は厳しさを増すものと考えている。
 一方で、有形固定資産減価償却比率、管路経年化率ともに類似団体より高く、上昇傾向にある。「水道ビジョン」に基づき、管路等更新事業の着実な推進を進めていく必要がある。